



各 位

平成 22 年 9 月 10 日

会社名 株式会社パレモ
代表者名 代表取締役社長 小 田 保 則
(JASDAQ・コード番号: 2778)
問合せ先 常務取締役管理担当 永 井 隆 司
TEL (0587) 24-9771

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、本年 4 月 2 日の「平成 22 年 2 月期 決算短信」で公表しました平成 23 年 2 月期（平成 22 年 2 月 21 日～平成 23 年 2 月 20 日）の第 2 四半期(累計)及び通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成 23 年 2 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 22 年 2 月 21 日～平成 22 年 8 月 20 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,240	450	450	70	9 65
今回修正予想 (B)	15,743	929	959	356	49 07
増減額 (B-A)	1,503	479	509	286	—
増減率 (%)	10.6	106.4	113.1	408.6	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 2 月期 第 2 四半期)	15,553	333	344	△399	△55 07

平成 23 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 2 月 21 日～平成 23 年 2 月 20 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	27,900	660	700	20	2 76
今回修正予想 (B)	29,930	1,160	1,210	270	37 22
増減額 (B-A)	2,030	500	510	250	—
増減率 (%)	7.3	75.8	72.9	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 2 月期)	29,893	491	532	△571	△78 78

修正の理由

(1) 平成 23 年 2 月期第 2 四半期(累計)業績予想 (平成 22 年 2 月 21 日～平成 22 年 8 月 20 日)

売上面におきましては、当第 2 四半期累計期間を通じてトレンド商品、ならびにその V P (ビジュアルプレゼンテーション) を強化したことによりプロパー商品が好調に売れ、また第 2 四半期にはいり猛暑という天候要因も追い風になった結果、第 2 四半期累計の既設店売上高前年比は 100.6%と計画を 7.6%上回り、売上高は前回予想を 1,503 百万円上回る見込みであります。

また、この期間の出店も計画より 7 店舗増えた 22 店舗になったことも増加要因としてあげられます。

利益面におきましては、売上高の増加要因に加え荒利益率が、商品管理面の向上による売価修正ロスの減少により、計画よりも改善したことから、営業利益・経常利益はそれぞれ前回予想を 479 百万円、509 百万円、当初計画を大幅に上回る見込みであります。

四半期純利益は、減損損失を 135 百万円計上する見込みであるものの、ほぼ特別損失合計としては予定どりの水準の見通しであり、営業利益・経常利益の増加を受けて前回予想を 286 百万円上回る見込みであります。

(2) 平成 23 年 2 月期通期業績予想 (平成 22 年 2 月 21 日～平成 23 年 2 月 20 日)

上記の第 2 四半期(累計)数値の見通しをうけて年間通期の売上高は、下半期においても堅調に推移することを予想し、当初計画から既設店売上前年比を 2.0%上方修正した 96.0%を見込み、年間通期の既設店売上前年比は、98.0%強となることから、当初計画から 2,030 百万円増加した 29,930 百万円になる見通しです。

また、利益面では、売上増加による利益増と出店の増加等による経費増加をそれぞれ見込み、年間通期の営業利益は 1,160 百万円、経常利益は、1,210 百万円となる見込みであります。

当期純利益におきましても、営業利益・経常利益の増加を受けて前回予想を 250 百万円上回る 270 百万円となる見込みであります。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の変更はありません。

以上